

同推協だより

No.141号

2025年4月発行

神前地区同和教育推進協議会

Email:kanzaki-do@m2.cty-net.ne.jp



2月2日（日）午前9時30分から12時まで寺方児童集会所にて

『第30回同推協のつどい』が開催されました！！

あいにくの天気でしたが、人権学習の発表をして頂いた神前小学校4年生を含め100名を超える方の参加でした。この『同推協のつどい』は一年間の研修等で気づいた自分自身の内にある差別心の存在と、それをどう減らすことが出来たかを振り返る場でもあります。本年度は高角町自治会と神前小学校PTAの活動報告がされました。高角町では「差別はしたくない」「差別はされたくない」「差別は残したくない」という思いは誰もが持っていることが確認出来たことや、地域のつながりを目的にみんなで話ができるかんざき「高角」だいたいと思うということが報告されました。神前小学校のPTAでは年度始めはどうしたら良いかわからず不安だったが、人権や部落差別など学ぶ機会が増えることで、色々な気づきにであえたこと、なによりも子どもとの会話や何気ない会話にも、ちょっと立ち止まって言葉を選んだり、他人事から自分事として考えることが増えたと思うという話がありました。小学校の4年生の発表では人権ポスターの製作や人権カルタについて作る過程での学びや同推協の活動に興味を持ち将来関わりたいという発言がありました。今の考えをみんなが持って大人になってくれたら、素晴らしい「神前」になると希望を感じさせてもらいました（ほっこりさせてもらいました）。

神前小学校4年生の発表



第2部企画部の啓発劇の様子

にとって、自分自身をも守る取組みである事を掲げていきたいと思います。
・各団体や学校・園での取組みを通じて、差別をなくす取組みを地道に継続していく必要性を感じた。差別は別の世界の話ではないことを伝えながら今できる行動を継続していきたい。

フィールドワークで世界遺産の龍安寺と立命館大学国際平和ミュージアムを見学しました！！

龍安寺では「石庭」日本を代表する枯山水庭園と「知足のつくばい」水戸光圀寄進とされる“吾唯足知”（われただたるをしる）図案化された禅の格言をみることができました。また方丈広間の襖絵を特別公開中で鑑賞できました（龍の誕生から成長・老いまで9面の襖に描かれたもので迫力を感じるものでした）。石庭は500年以上前の室町時代に作られたもので縁側に座って眺めると何故かこころ落ち着く空間に誘われました。立命館国際平和ミュージアムでは国家権力に翻弄され戦争に巻き込まれた日本国民の姿、日本だけで無く世界の人民に共通する戦争・平和について学び直す事ができました。



平和ミュージアムの1階
手塚治虫「火の鳥」壁画前



龍安寺石庭



龍安寺 方丈の間の襖絵



龍安寺のつくばい



近くの観光地 嵐山 渡月橋



嵐山 竹林の道

皆様ぜひ次回開催時には同推協啓発員として、ご参加下さい！！

この1年間の活動を振り返って

・人権は難しい、考えることがないとよく聞きます。学校へ通えることができる。行きたいところへ行く事ができる。食べたいものが食べる事ができる。好きな人と結婚することができる。まだまだ有ります。こんなの当たり前でしょ！って思うことがすべて「人権」に繋がっていること “マジョリティの特権を学んでマイノリティの人には当たり前が当たり前になっていないことがあるので、全ての人の人権は守られなければならないという事に気づいた一年でした。（Y. T）

・一番苦になったのは、町別・各種団体別の懇談会への参加でした。同推協からの参加となると意見を求められた時、正しく立派な解答の様な発言をしなくてはというプレッシャーに負けて出席できなかった。

会議等の中で計画（予定）など分かったつもりが後で振り返ると、どう決まっただろうと悩むこともあったため、これからはその場ではっきり聞き記録する様に心掛けたい。毎年のことですが新しい部員さんと早く話しやすくなる部会にしていきたいです。（K. S）

・最近ではテレビ・新聞等でカタカナ用語やローマ字用語が多く出てきます、特に英語二つを略してつないだ言葉、DX、タイパ、カスハラ、更にはガバクラ（ガバナンスクラウド：デジタル庁が国や地方自治体等に提供するクラウドサービスのこと）（クラウド：データやソフトウェアをネットワーク経由で利用者に提供するサービスのこと）等々コンピュータ用語など耳慣れない言葉を省略化されるともう意味がわからなくなってしまいます。記憶できないのは高齢だから仕方ないという言訳と、解らない事が増えるくやしさを覚えている今の私です（S）

・1年間広報部員として同推協だよりを作成するにあたって記事の内容を考えると同時に、あらゆる人権・差別について話したり部落差別について考え合ったりする中で、自分の中にある差別心や偏った見方など自分を振り返る機会となりました。色々な人と話すことで自分とはまた違った考え方や見方などを知り、自分自身も豊かになり考え方が広がりました。これからも考え続けていきたいと思います。（Y. S）

・今までは殆ど考えることも無かったのですが、この1年人権問題に取り組んできたことでふとした時に自分が差別をしてしまっていたことがあるのでは？と考える様になりました。自分が部落問題で悩んだことがないので実感は湧きませんが、研修・講演などで自分とは違う考えがあったり、体験談を聞き差別の実態を知っておく事はとても大切だということを学びました。

・初めは不安だったりあまり気が乗らず・・・って感じてましたが、やってみると楽しくて役員・先生ととても良い関係ができたので良かったと思っています。神前トークも毎月にしたことで、みんなとの距離が近くなれたと思います。（Y. K）

・PTA役員になって初めて人権に対して皆さんが色々な活動に取り組んでいることを知りました。私自身人権に関してあまり意識することなく過ごしてきたが、1年間参加させて頂き色々なことを考えさせられました。知らなかった部落差別を取上げることで余計に差別が起こるのではないかともしましたが、知ることの大切さを学ばさせて頂きました。研修を通して無知なことも差別を残すと知り、気づく事の大切さ、そして自分の考えを改めるいい機会になりました。今後も活動を通して差別がなくなるよう行動しようと思う人が増えるといいな！

・夏の啓発委員研修会に参加して同和問題や差別についてなど知ることが出来、そこで「考えていく」という事がすごく大切なのだと気づかされました。神前だから差別問題を深く考えなきゃいけないのではなく、どこに居てもいくつになっても心に置いておくべきなのだと思います。神前トークにも参加し色々な方々とお話させて頂き学ぶ事がたくさんありました。



～～～ マジョリティ（多数派）側の障がい者差別について考える ～～～

「障がい者は不便である。しかし不幸では無い」これはヘレンケラーの言葉です。

皆さんはどうお考えでしょうか？

障がい者は、かわいそうだ。何もできない。気の毒で、手助けするのは当然だ。重要な仕事は任せられない。何をするかわからない。など大半の方は、障がい者や認知症患者、高齢者に対して無意識の偏見を持っているのではないのでしょうか？

「障がい者って本当にかわいそうなのか？」障がいのある人の話では「自分はかわいそうと思っていないし他人から言われたくない」と思っていると聞いた事があります。

何が、どこがかわいそうなのか。自由に行動できないから？仕事につけないから？

社会的問題があるなら、出来ない事を出来るようにする。バリアフリーにしたり、仕事が出来る様に工夫することで解決できます。「不便さ」「不自由さ」を少しでも感じさせなくなっていく様な社会を作っていけばいいのではないのでしょうか。

私たちの中に「障がい者とは・・・」と決めつけや価値観、異質なものを受け入れられないという面、経験、習慣、周囲の環境によって作り上げられる物事の見方など、無意識に持ってしまった偏見を改めて考えていきたいと思います。

障がい者差別を支えている一人にならないために立ち

止まって考えていきたいと思います。

人権とは「人間の尊厳に基づいて各人が持っている固有の権利であり、社会を構成する全ての人が、個人としての生存と自由を確保し、社会において幸福な生活を営むために欠かすことのできない権利」のこと（国の「人権教育・啓発に関する基本計画」での定義）



ちょっと！ちょっと！

町別・団体別懇談会等で時々出る話に、何故色々な人権問題のある中で部落差別を取上げるのですか？という発言があります。それは部落差別が他の人権問題と違って外見上は何ら違いが無いのに、封建社会の中で人為的に作られ今なお続く差別・人権問題で、特定の集団（体制）の利害に基づき違いが無いのに有るが如く区別され人権を奪われてきた問題だからです。このことは現在でも個人（特定の組織）によってネット SNS 等を使い偽情報や誤情報を発信し大衆を洗脳し、特定の人や組織、地域を異端視や差別することと根底は変わらないのです。部落差別について正しく学ぶことによって、様々な人権問題も正しく理解できるようになります。何故なら人として人間としてどう考え、どう生きるべきかを自ら模索し判断する力がつくことに繋がるからです。

同推協啓発委員

募集中

啓発委員になっていただける方は市民センターロビーに設置してあるポストにお名前を記入して投函してください。（申込用紙は置いてあります。）お電話、FAX、メールでも構いません。啓発委員になっていただければ委員研修やイベントに参加したり、同推協の活動内容のお知らせを送らせてもらったりします。

【問合せ先】神前地区市民センター内 団体事務局 Tel・fax 327-1501（受付午後）

Email : kanzaki-do@m2.cty-net.ne.jp